

News Release 2014 年 12 月 18 日

富士通システムズ・ウエスト社、LinguaNext の多言語翻訳ソリューションを「IT Policy N@vi」に採用

ビジネスアプリケーションの「多言語化」をサポート

リングアネキストジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長: David Crouch/ディビッド・クラウチ、略称: リングアネキストジャパン)は、本日、同社の多言語翻訳ソリューション「Linguify」が、株式会社富士通システムズ・ウエスト(本社: 大阪市中央区、代表取締役社長: 鈴木 英彦、略称: 富士通システムズ・ウエスト)が開発する「FUJITSU セキュリティソリューション IT Policy N@vi」に採用されたことを発表します。

財務省が発表した 2014 年度上期の国際収支状況(速報)によると、海外投資などによる第一次所得収支の黒字額は過去最高を記録し、日本企業による海外進出の増加が顕著にみられています。こうした中、多くの企業でビジネスアプリケーションの「多言語化」がグローバル化の課題となっており、海外向けにソリューション提供を行う IT 企業や、社内システムを多国間のオフィスで使用したい製造業など、幅広い分野において需要が高まっています。

富士通システムズ・ウエストは、かねてより海外のお客様向けに「IT Policy N@vi」英語版を独自開発し 提供されています。この度、より多くのお客様にご活用いただくため、「IT Policy N@vi」の多言語対応を決 定され、低コストで迅速に翻訳できる「Linguify」の採用を決めていただきました。

「Linguify」は、ビジネスアプリケーション上で使われる文章を任意の言語に変換できる、多言語翻訳ソリューションです。SAP 社が推奨する Endorsed Business Solution(EBS)にも認定されており、既に SAP 社のモバイルデバイスマネジメントソリューションである「SAP® Afaria」のグローバル展開を強力に支援しています。「Linguify」は、アプリケーションのソースコードやデータベースに一切触れることなく、システムの外側で動作して翻訳を行うため、企業はシステム自体に手を加えることなく、また自社で翻訳版を開発するよりも低コストかつ短期間で、単一の言語で開発したアプリケーションを多言語化して提供することが可能です。

リングアネキストジャパンは、今後とも自社の優れたアプリケーションを海外向けに展開したいと考えるソフトウェア企業や、日本語以外の言語で設計されたアプリケーションを利用する国内企業に対して、「多言語化」のための新たな選択肢を提供してまいります。

● 「Linguify」に関する詳細は、以下をご覧ください。 http://linguanext.co.jp/about-linguify/how-linguify-works/

###

富士通システムズ・ウエスト:「IT Policy N@vi」について

「IT Policy N@vi」は、ワークスタイル変革に伴うマルチデバイス環境において、お客様の定める「セキュリティ対策」・「IT 資産統制」・「エコへの活動」・「システム運用支援」の 4 つの IT ポリシーに基づき、IT ガバナンス遵守を支援するオールインワンクラウドサービスです。

紹介サイト: http://jp.fujitsu.com/fwest/services/itpolinavi/

LinguaNext について

LinguaNext Technologies は、翻訳ソリューションにおけるマーケットリーダーとして、グローバル企業や独立系ソフトウェアベンダー、システムインテグレーターが手掛けるソリューションの多言語化を支援しています。同社のソリューションは、インドのあらゆる業界において、ビジネスアプリケーションの翻訳におけるデフ

ァクトスタンダードとなっています。昨今では、100万人以上の様々なグローバル企業のユーザーが、こうした翻訳ソリューションを活用してビジネスアプリケーションを利用していると言われています。LinguaNextの革新的なソリューションは、企業の迅速なグローバル化を支援し、雇用やトレーニングにかかるコストを削減すると共に、従業員の業務効率化と効果的なカスタマーサービスの提供を実現します。

※文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先 担当 田賀 奈緒子 リングアネキストジャパン株式会社

TEL: 03-4530-9670 naoko.taga@linguanext.net www.linguanext.co.jp